



ルート ポリシーの設定

- [「ルート ポリシーの一覧の参照」](#)
- [「ルート ポリシーの追加」](#)
- [「ルート ポリシー手順の参照」](#)
- [「ルート ポリシー手順の追加と編集」](#)

ルート ポリシーの一覧の参照

ルート ポリシーには、ルートの動作が定義されます。



(注)

ルート ポリシーは、CLI のルックアップ ポリシーとも呼ばれます。

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Route Policies] を選択します。
表 13 に説明されているフィールドが含まれる、[Route Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** ルート ポリシーを削除するには、次の操作を実行します。
- a. 削除するルート ポリシーの名前の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Remove] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
- ステップ 3** ルート ポリシーを、最後にコミットされた時間の設定まで戻すには、次の操作を実行します。
- a. 元に戻す設定があるルート ポリシーの名前の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Revert] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

[Route Policy] フィールド

表 13 に、[Route Policies] ページのフィールドの一覧を示します。

表 13 [Route Policy] フィールド

パラメータ	説明
State	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [New] : 新しいレコード。コミット時に、アクティブな設定に追加されます。 • [Modified] : 変更されたレコード。コミット時に、アクティブな設定になります。 • [Deleted] : 削除されたレコード。コミット時に、アクティブな設定から削除されます。 • [Active] : アクティブなレコードとアクティブな設定。
Name	このルートポリシーの名前。

[Route Policy Step] フィールド

表 14 に、[Route Policy Step] ページのフィールドの一覧を示します。

表 14 [Route Policy Step] フィールド

パラメータ	説明
ルート テーブル	
Name	このルートポリシーが添付されるルートテーブルの名前。
Lookup Key Matches:	次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Exactly] (デフォルト) : 指定したテーブルのキーの完全一致を検索ポリシーで検索することを指定します。 • [Prefix-Longest-Match] : 最も長いプレフィクスの一致を検索ポリシーで検索することを指定します。 • [Subdomain] : テーブルのキーの最も長いサブドメインを検索ポリシーで検索することを指定します。ドメイン名の一致では大文字と小文字が区別され、最も詳細な一致が優先されます。IP アドレスの一致は完全一致である必要があります。要求に non-SIP request-URI が含まれる場合、この検索は失敗します。このエラーを回避するには、[Case Sensitive] の横にあるチェックボックスをオンにします。 • [Subnet] : テーブルのキーの最も長い IP アドレスを検索ポリシーで検索することを指定します。 • [Prefix-Fixed-Length] : キー全体ではなく、キーの文字の固定数が検索されることを指定します。
Case Sensitive	ルートテーブルのルックアップポリシーで、大文字と小文字が区別されるように設定する場合は、このボックスをオンにします。

表 14 [Route Policy Step] フィールド (続き)

パラメータ	説明
ルート テーブル ルックアップ キー	
Lookup Key	<p>ドロップダウン メニューから、宛先を選択します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Request URI] : Request-URI ヘッダーに適用する検索ポリシーを指定します。 [Field] [SIP Header] : 検索ポリシーを適用できるヘッダーを指定します。 <p>ドロップダウン メニューから、URI コンポーネントを選択します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> [URI] : URI 全体に適用する検索ポリシーを指定します。 [User] : user URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 [Phone] : phone URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 [Host] : host URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 [Host-Port] : host-port URI コンポーネントに適用する検索ポリシーを指定します。 [Param] : URI コンポーネント パラメータ名を指定します。
ルックアップ キー修飾子	
Regular Expression Match	正規表現に一致するキー修飾子を指定します。
Regular Expression Replace	正規表現を置き換えるキー修飾子を指定します。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「ルートのポリシーの設定」の目次ページに戻る

ルートのポリシーの追加

始める前に

ルートのポリシーを追加する前に、少なくとも 1 つのルート テーブルを作成し、設定する必要があります。「ルートのテーブルの設定」を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [Configure] > [Route Policies] を選択します。
[Route Policies] ページが表示されます。
 - ステップ 2** [Add] をクリックします。
[Route Policy Steps: (New)] ページが表示されます。

- ステップ 3** このルート ポリシーの名前を入力します。
[Add] をクリックします。
[Route Policy Step: Add] ページが表示されます。
- ステップ 4** ルート ポリシーの手順を入力します。「[ルート ポリシー手順の追加と編集](#)」を参照してください。
- ステップ 5** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

関連項目

- 「[システム設定の管理](#)」
- 「[ルート ポリシーの設定](#)」の目次ページに戻る

ルート ポリシー手順の参照

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Route Policies] を選択します。
[Route Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 強調表示されている、ルート ポリシーの手順を参照するルート ポリシーの名前をクリックします。
[Route Policy Steps: <ルート ポリシー名>] ページが表示され、このルート ポリシーに関連付けられているすべての手順が示されます。
- ステップ 3** ルート ポリシーの手順を削除するには、次の操作を実行します。
- a. 削除するルート ポリシーの手順の名前の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Remove] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
- ステップ 4** ルート ポリシーの手順を、最後にコミットされた時間の設定まで戻すには、次の操作を実行します。
- a. 元に戻す設定があるルート ポリシーの手順の名前の横にあるボックスをオンにします。
 - b. [Revert] をクリックします。
 - c. [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。
-

ルート ポリシー手順の追加と編集



(注)

ルート ポリシーの編集時には、それに関連付けられている手順のみを編集できます。

手順

- ステップ 1** [Configure] > [Route Policies] を選択します。
[Route Policies] ページが表示されます。
- ステップ 2** 強調表示されている、ルート ポリシーの手順を追加または編集するルート ポリシーの名前をクリックします。
[Route Policy Steps: <ルート ポリシー名 >] ページが表示され、このルート ポリシーに関連付けられているすべての手順が示されます。
- ステップ 3** ルート ポリシーの手順を追加するには、次の操作を実行します。
- [Add] をクリックします。
[Route Policy Step: *Add*] ページが表示されます。
 - 表 14 の説明のように、ルート ポリシーの手順に関する情報を入力します。
 - [Add] をクリックします。
- ステップ 4** ルート ポリシーの手順を編集するには、次の操作を実行します。
- 強調表示されているルート ポリシーの手順の名前をクリックします。
[Route Policy Step: *Edit*] ページが表示されます。
 - 表 14 の説明のように、ルート ポリシーの手順の値を変更します。
 - [Update] をクリックします。
- ステップ 5** ルート ポリシーの手順を移動するには、その横にあるボックスをオンにし、上矢印または下矢印をクリックします。
- ステップ 6** [Cisco Unified SIP Proxy] ヘッダーで、[Commit Candidate Configuration] をクリックして、変更をコミットします。

関連項目

- 「システム設定の管理」
- 「ルート ポリシーの設定」の目次ページに戻る

